

愛のあかし
元和の大殉教
400年記念
(2022~2023)

シンポジウムⅡ

1865年の長崎信徒発見と1867(慶應3)年に起こった浦上四番崩れが契機となり、1873(明治6)年2月24日、明治政府は、太政官布告第68号をもって、約260年続いたキリスト教禁教の高札を撤去しました。

今年は高札撤去150年にあたり、明治期のキリスト教の再宣教の歩みと、信教の自由(基本的人権)が日本社会にどのような影響を与えたかを考察します。



教会と国家の はざままで生き抜いた 信徒の歩みを振り返って

「歩く宣教師テストヴィド神父と出会った人々」

2023
10.21 [土] 14:00-17:00
〈開場 13:30〉

【場所】上智大学中央図書館 9階

入場無料
予約不要

YouTubeによる
ライブ配信有

■シンポジスト



中島 昭子 氏
(学校法人捜真学院 学院長)

■コーディネーター



川村 信三 神父
(イエズス会司祭、日本カトリック
司教協議会列聖推進委員会 顧問)

■明治時代のカトリック聖歌演奏

「明治・大正期のカトリック教会で歌われた西洋聖歌」(仮題)

解説: 松橋輝子(音楽学者、東京藝術大学) 合唱: カトリック麴町聖イグナチオ教会テレジア聖歌隊

主催: 日本カトリック司教協議会 列聖推進委員会 上智大学キリシタン文庫